

スケート文化を支えるスポーツの拠点

やまびこスケートの森 アイスアリーナ

近代スケート発祥の地から、アイススポーツを熱く盛り上げる！
地域とアイススポーツを繋ぐ巨大施設の裏側と
リンク運営を支えるスタッフの皆さん取材しました。



キーワード ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設

国は、冬季競技、海洋・水辺系競技、屋外系競技などについて既存のトレーニング施設を「競技別強化拠点施設」として指定し、トレーニングや医学・情報サポートの環境・体制を整えることで、各競技の選手強化を図り、国際競技力向上を目指している。「やまびこスケートの森アイスアリーナ」はパラアイスホッケーの強化拠点施設。

未来へつなぐ

「スケートのまち」づくり

冬になると、子ども達や家族連れで賑わいを見せる「やまびこスケートの森アイスアリーナ」(以下アイスアリーナ)。平成6年に営業を開始して以来、アイススポーツの拠点として毎年多くの人々に利用されています。

岡谷市は、日本の近代スケート発祥の地として、冬は厳冬の中、諏訪湖や田んぼリンクなどでスケートに親しみ、同時に国内トップレベルの有名選手を多数輩出するなど、一つのスポーツ文化を築いてきました。地球温暖化の影響で天然リンクが出来なくなった現代で、この地域独自のスケート文化を継承するべく設立されたのが、通年営業の屋内スケートリンクと冬季限定の400m屋外リンクを備えた「やまびこスケートの森」です。

アイスアリーナは、フィギュアスケートやアイスホッケー、ショートトラックの公式試合でも使用されている30m×60mの国際公認リンク。また、開業当時からパラアイスホッケーチームが活動拠点としてアイスアリーナを利用してきたこともあり、平成28年3月には文部科学省によってパラリンピック競技ナショナルトレーニングセンター「パラアイスホッケー強化拠点施設」の指定を受けました。オリンピック、パラリンピックに合わせ、県内で指定を受けているのは長野市の「エムウエーブ」などわずか6施設。選手達が充分にトレーニングを行えるよう、控え



アイスアリーナを拠点に活動する「やまびこバスターズ」

室やトレーニングセンターなどの環境を整えたり、練習時間中に理学療法士や看護師を配置したりと、様々な面でサポートを行っています。

昨年10月からスウェーデンで行われた平昌パラリンピック最終予選では、パラアイスホッケー日本代表チームが見事出場権を獲得。運営スタッフの皆さんは、パラリンピックに向けより一層サポートを強化したいと意気込んでいます。他にもスピードスケートの小平奈緒選手など、アイスアリーナで練習に励んできた選手活躍に今から期待が膨らみます。

また、アイスアリーナでは、中南信地方唯一のジュニアアイスホッケーチームである「やまびこバスターズ」や、長野フィギュアスケートクラブなど、未来を担う子ども達も練習に励んでおり、スポーツ選手の育成も施設の大きな役割の一つとなっています。

て注目されている「シンクロナイズドスケート」の教室も開催。教室では、「できた！」と喜ぶ子どもたちの笑顔が溢れています。

長野県に暮らす私たちにとってスケートは比較的身近なスポーツですが、それは恵まれた環境があつてこそ。リンクが身近にあり、小さい頃からスケートに触れ、当たり前のように滑れる。この文化は、「スケートのまち」づくりの一つの成果と言えるでしょう。「スケートが滑れる場所」として施設をしっかりと維持していくこと、そして、信州ならではのスポーツ文化を継承していくことが、やまびこスケートの森の大きな課題なのです。

スケートは子どもと大人が手を繋ぎ、触れ合いながら楽しめる手軽なスポーツ。しばらく続く冬の季節、小さい頃に滑って以来スケートから遠ざかっていた人も、家族や友人と一緒にリンクに出掛けてみてはいかがでしょうか。

アイスアリーナを拠点に活動するパラアイスホッケーチーム。昨年、平昌パラリンピックへの出場権を獲得した。



リンク運営に欠かせない「もの」と「ひと」

アイスアリーナの運営に携わるスタッフは十数人。冬はもちろん、通年でリンクを管理・提供しています。夏場は閑散としているイメージがありますが、意外にも暑い夏の方が稼働率が高いというアイスアリーナ。各地から、スケートやアイスホッケーなどのスポーツ団体や、大学のスポーツサークルなどが練習に訪れます。冬季になると、岡谷・松本・安曇野に至る県内の小・中学校が授業の一環として訪れ、繁忙期はまさにフル稼働。そのため夜中に氷のメンテナンスを行うこともあるのだとか。

氷質に定評のあるアイスアリーナでは、良い氷を維持するために設備投資にも力を入れています。今後長期的に安定して氷を作れるよう、リンクを凍らせる巨大な冷凍機を数年前に一新。夏場は建物

「スケートを滑る」ことをもっと身近に

平昌オリンピックに向けて日本のアイススポーツが盛り上がりを見せる一方で、少子化や遊びの多様化の影響から、スケート人口は減少傾向にあります。

やまびこスケートの森では、アイススポーツに親しんでもらう活動の一環としてスケート教室を定期的に開催し、競技の普及に努めています。初心者から参加出来るフィギュアスケート教室に加え、最近では、未来のオリンピック種目とし



スピードスケートやフィギュアスケートのチームが、日々練習に励んでいる。
上)スピードスケートの練習風景
中)シンクロナイズドスケートチーム「やまびこSTAR LAND」
下)シンクロナイズドスケートの演技

information

株式会社やまびこスケートの森
岡谷市宇内山4769-14
●アイスアリーナ
TEL.0266-24-2494 FAX.0266-24-1198
●国際スケートセンター・トレーニングセンター
TEL.0266-24-5210 FAX.0266-24-5202
<http://yamabiko.co.jp/>